

Injury Alert (傷害速報)類似事例

キャスターボード使用中の転倒による頭部外傷 (No.102 キャスターボード使用中の転倒による外傷の類似事例 3)

事例	基本情報	年齢：12歳 0か月 性別：女児 体重：30kg 身長：143cm
	家族構成	父、母、妹2人(9歳、6歳)、弟2人(8歳、4歳)
	発達・既往歴	正常、特記すべき既往歴なし
臨床診断名		脳震盪、急性硬膜下血腫、後頭骨骨折
医療費		入院 1,112,340円 外来 0円
原因対象	対象名称	キャスターボード
	入手経路 使用状況	家には2種類のキャスターボードがあった。 本児は小学校1年生の頃から1-2回/週で使用しており、乗りこなしていた。
発生状況	発生場所	自宅近くの道路（路面はアスファルトで、緩やかな坂道） 普段は行かない場所で、あまり遊び慣れていない道路であった。
	周囲の人 周囲の環境	友人、8歳弟と一緒に遊んでいた。 受傷した瞬間を目撃した人はいない。
	発生年月日	2021年12月X日（日） 午後5時00分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	弟がキックスケーター（地面を蹴って進む、ハンドル付きの乗り物）に乗り、キャスターボードに乗った本児がその肩につかまる形で緩やかな坂道を下っていた。ヘルメットは装着していなかった。キャスターが石にひっかかって本児のみ転倒し、頭を地面にぶつけた。それ以降の本人の記憶は消失している。弟が母親に伝えた。母親が接触した際、本児は頭痛を訴え啼泣していた。午後6時に、自家用車で医療機関Aを受診した。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>医療機関到着時、血圧 109/70mmHg、心拍数 101 回/分、呼吸数 20 回/分、SpO₂ (室内気) 98%で、後頭部に皮下血腫を認めた。その後意識レベルが低下し (GCS 4 点; E2V1M1)、午後 6 時半に全身性けいれんが出現した。抗けいれん薬で鎮痙したが、自発呼吸が不安定であったため、気管挿管を行い、小児集中治療室に入室した。</p> <p>頭部単純 CT 検査で左後頭部に硬膜下血腫と後頭骨骨折を認めたが、継時的評価として血腫増大傾向はなく、病態の主体は脳震盪によるものと思われた。鎮静下人工呼吸管理を行い、X+1 日に抜管した。抜管後は意識清明となり、X+2 日に一般病棟へ転棟した。X+4 日に施行した頭部単純 MRI 検査では明らかな異常を認めなかった。計 10 日間の入院の後に退院した。神経学的後遺症は認めていない。</p>
<p>キーワード</p>	<p>キャストボード、転倒、頭部外傷</p>